

幼稚園就園奨励事業

Q 減額補正をする理由は。

A **こども支援課主席主幹** 補助金額は、所得に応じた市民税額により変動する。当初、前年度実績に基づいて予算計上したが、申請者の補助区分ごとの人数に変動があったため、補助金額が減額したことによる。



生徒就学支援事業

Q 対象者や支援の内容は。

A **学校教育課主席主幹** 経済的理由により就学困難と認められる中学生の保護者に対して支援する事業である。学校給食費、学用品、修学旅行費などを援助している。当初の見込みより10人の増加を見込んでいる。

障害者自立支援事業

Q 減額補正をする理由は。

A **障害者福祉課長** 生活介護費や就労移行支援等の経費が見

込みを下回ったため、減額した。

民間保育所運営支援事業

Q 減額補正をする理由は。

A **こども支援課主席主幹** 保育料単価の高いゼロ歳児の入所人数が、年度当初に少なかったことが大きな要因である。

母子自立支援事業

Q 減額補正をする理由は。

A **こども支援課長** 母子家庭の自立を促すことを目的に、看護師、保育士等の資格を取得するための助成制度として高等技能訓練促進費がある。この助成を受けた方が見込みより少なかったことにより、減額補正となった。



体育館耐震補強事業

Q 耐震化とあわせて行う改修は。

A **学校教育課主席主幹** 体育館の状況により、老朽化対応として屋根と外壁の防水改修工事等を行う。

特別会計

一本松土地区画整理事業

Q 保留地処分金の増額の理由は。

A **区画整理課長** 23年度に売却を予定していた保留地が権利者の都合で24年度に売却できたためである。

Q 土地売却収入の減額の理由は。

A **区画整理課長** 事業計画の変更を行った際に生じた換地について、購入予定者が現時点での購入が難しいということから減額補正を行った。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 保留地処分金の減額の理由は。

A **区画整理課長** 当初予算では保留地の処分面積を157万

平方メートルと予定していたが、最終的に140平方メートルとなったため、減額補正となった。

国民健康保険

Q 繰越金の基金への積み立ては。

A **保険年金課長** 今回の補正で繰越金を約4億5808万円計上している。このうち4億1433万円を基金として積み立てる。

後期高齢者医療

後期高齢者医療広域連合への負担金の追加に要する経費等を増額補正するものです。

介護保険

Q 補正後の介護給付費準備基金の額は。



A **高齢者福祉課長** 今回の補正予算の結果、約3億7000万円を見込んでいる。

Q 第5期介護保険事業計画の進捗状況は。

A **高齢者福祉課長** 1期3年間の初年度に当たる24年度は、要介護認定者の数、介護給付費の執行状況等おおむね計画どおりである。

▼3月補正予算の状況 (単位：千円)

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	838,170	19,503,864
一本松土地区画整理事業特別会計	△ 37,777	269,756
若葉駅西口土地区画整理事業特別会計	△ 34,546	457,082
国民健康保険特別会計	472,383	7,779,210
後期高齢者医療特別会計	9,093	436,935
介護保険特別会計	438	3,065,791

▼一般会計補正予算の内訳 (単位：千円)

歳入(財源)の内訳	補正額
市税	140,000
地方譲与税	△ 6,000
地方消費税交付金	△ 10,000
自動車取得税交付金	10,000
地方交付税	15,854
国庫支出金	311,124
県支出金	△ 22,001
財産収入	15,434
寄附金	428
繰入金	△ 403,015
繰越金	300,869
諸収入	9,277
市債	476,200
歳入合計	838,170

歳出(使途)の内訳	補正額
総務費	△ 1,987
民生費	△ 27,214
衛生費	△ 4,117
農林水産業費	52
土木費	178,074
消防費	△ 23,699
教育費	715,746
諸支出金	1,315
歳出合計	838,170